



下地調整塗材C-1 適合品

# ハイモル マックス<sup>®</sup> #10

下地調整塗材C-1  
適合品



ゼロアスベスト製品  
昭和電工建材のプレミックスモルタルは全て、石棉や石棉関連の素材を一切含まないゼロアスベスト製品です。

## 抜群の施工性!

## 完全プレミックスモルタル(一材型製品)

## カチオン粉末樹脂入り

- ・ 高品質、高性能、作業性向上。
- ・ 水練りだけでポリマーセメントモルタルとしてご使用いただけます。

適用部位	内・外壁、内・外床、天井等
標準塗厚	0~2mm
標準塗面積	22m <sup>2</sup> /袋(1mm)
練り上がり量	22ℓ
用途	RC躯体・PC板等の内外部薄塗り補修、全面しごき塗り等
荷姿	25kg防湿紙袋入り

※用途につきましてご不明な点がございましたら、施工前に必ず当社へご相談ください。  
※特殊下地への施工は避けてください。

### 日本建築仕上材工業会登録

商品名	ハイモルマックス <sup>®</sup> #10
表示登録番号	0802007
ホルムアルデヒド放散等級区分表示	F☆☆☆☆
製造業者等名称	昭和電工建材株式会社
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>

本製品は ISO 9001 認証事業所によってつくられています。

## 昭和電工建材株式会社

1 下地処理

- 下地面の突起物、レイトンス、硬化不良部分、塵埃、油分、汚れなどは、ブラシ、サンダー等で除去し、水洗い等で適切に処理してください。
- 下地のクラックや著しい欠損や不陸がある場合は、塗り付け前に処理してください。
- 塗り付け箇所は下地の乾燥後、吸水調整材として必ずハイモルエマルジョン5倍液を刷毛等でむらなく塗布してください。

2 混練

ハイモルマックス®#10



1袋(25kg)



清水



約8.25ℓ

モルタルミキサー、ハンドミキサーにてよく混練してください。(可使時間は約1時間です)

3 塗り付け

- 吸水調整材を塗布した下地表面が乾燥後に、鍍圧をかけて0.5~1mm程度でガリッと下こすりを実施後、所定の厚さに塗り付けてください。
- ※1日のコテ作業での塗り厚は2mm以下としてください。

4 養生

- 仕上材施工までの養生期間は10日(冬期14日)以上としてください。また、通風や日射による早期乾燥を防止するため、必要に応じてシート養生、散水養生を行ってください。

⚠ 標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

試験項目		試験結果	品質基準(JIS A 6916) 【セメント系下地調整塗材1種】 C-1
軟度変化 %		-1.2	±20 以下
耐ひび割れ性		ひび割れの発生は認められない	ひび割れないこと
耐衝撃性		ひび割れ及びひびがれは認められない	ひび割れ及びひびがれがないこと
付着強さ N/mm <sup>2</sup>	標準養生時	1.4	0.7 以上
	低温養生時	1.8	0.5以上
吸水量 g		1.0	2 以下
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性	表面状態	割れ、膨れ及びひびがれは認められない	割れ、膨れ及びひびがれがなく、付着強さ0.7以上であること
	付着強さ N/mm <sup>2</sup>	1.3	

試験場所:(財)ベターリビング  
記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。

注意事項

〈施工上の注意〉

- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な保温、採暖を行ってください。
- 施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は施工を中止してください。
- 現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。
- セメント製品に特有の現象である白華(エフロ)が発生することがありますが、品質には異常ありません。

〈使用上の注意〉

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

〈応急処置〉

- 目に入った場合: 直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合: 直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合: 大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

〈保管上の注意〉

- 雨露のからまない湿気の少ないところに保管し、地面に直接放置しないでください。
- 購入された材料は、製造日から4か月以内に使用しきってください。

〈運送上の注意〉

- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。
- 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水濡れに注意してください。

〈廃棄上の注意〉

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

〈漏出時の注意〉

- 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。
- 排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとってください。

このカタログの記載内容は2013年10月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。  
カタログに記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。安全上の注意事項の詳細については別途、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

昭和電工建材株式会社

■ 本社・建設資材営業部

〒221-0024  
横浜市神奈川区恵比須町2-1  
TEL(045)444-1691  
FAX(045)444-1699  
http://www.sdk.co.jp/kenzai/

■ 仙台営業所

〒983-0044

仙台市宮城野区宮千代3-2-14

TEL(022)236-7108

FAX(022)283-0694

■ 名古屋営業所

〒460-0008

名古屋市中央区栄2-9-26

TEL(052)218-8085

FAX(052)202-1202

■ 大阪営業所

〒532-0011

大阪市淀川区西中島6-5-3

TEL(06)6100-2202

FAX(06)6100-1232

■ 福岡営業所

〒812-0025

福岡市博多区店屋町5-22

TEL(092)281-9881

FAX(092)281-9505

■ 関東SCMセンター

〒120-0024

足立区千住関屋町1-4

TEL(03)3881-5001

FAX(03)3870-3952

■ 東北SCMセンター

〒983-0034

仙台市宮城野区扇町1-7-2

TEL(022)231-2070

FAX(022)231-2073

■ 中部SCMセンター

〒452-0837

名古屋市西区十枚町172

TEL(052)501-2421

FAX(052)501-2424

■ 関西SCMセンター

〒567-0058

茨木市西豊川町14-3

TEL(072)641-6399

FAX(072)641-6401